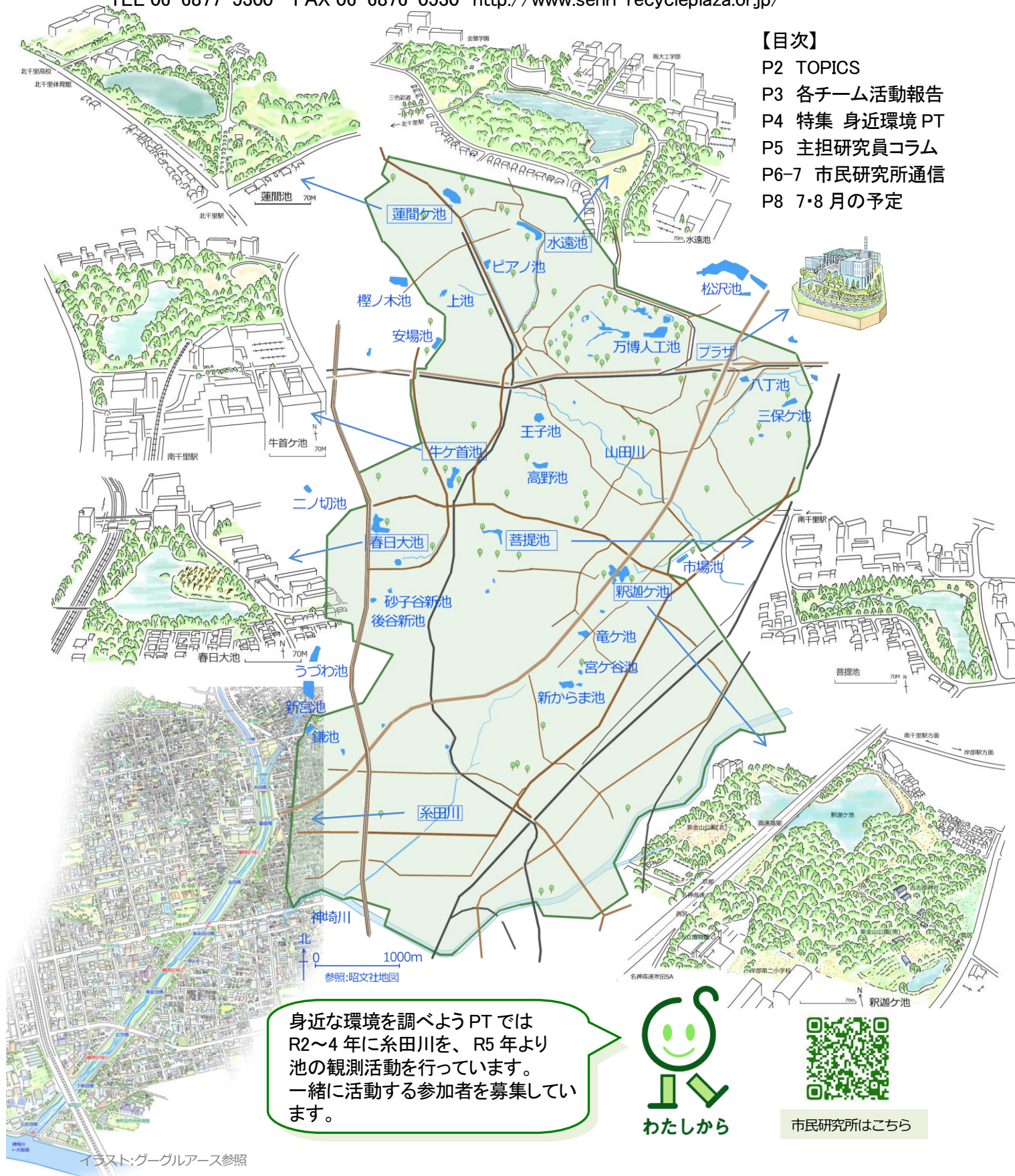


しみんけんきゅうニュース

【目次】
P2 TOPICS
P3 各チーム活動報告
P4 特集 身近環境PT
P5 主担研究員コラム
P6-7 市民研究所通信
P8 7・8月の予定



TOPICS

環境出前講座

市民とお店 P T では、これからの時代を担う子供たちに、地球の限りある資源を大切に使い、持続可能な社会を構築するためには何ができるかを問題提起し、3R推進の重要性を理解出来るように、リデュースとリユースにもなる「おもしろ・ふろしき」講座と、「ごみの12種分別ゲーム」講座、「エコなお買い物ゲーム」講座、「食品ロスすごろくゲーム」講座の4講座を市内小学校で実施しています。そして、今年度は新しく「プラスチックごみ削減」をテーマにした「すごろくゲーム」を追加して実施したいと考えています。

また、「おもしろ・ふろしき」講座の動画を制作しましたので、その活用法を考えていきたいと思います。

(市民研究員 菊田善雄)



第7回 ～くるくる環境スクール開校～

令和6年のくるくる環境スクール、今年で7回目です。

2024年6月8日(土)10:00から開校式がありスクールが始まりました。

今年度は20名の参加で吹田市以外からの受講者が多くありました。吹田市近隣の池田市、箕面市、茨木市、豊中市、寝屋川市等、兵庫県から参加の方も！

他市からの情報も得られスクール生も環境問題をより深く勉強できると全8講座を期待している様子でした。

施設案内を担当しましたが、熱心な質問もあり、勉強の意欲を感じました。自己紹介でも環境問題に対する関心の深さが垣間見られ、大いに勉強の成果を期待したいと思います。

(市民研究員 茶園征也)



プロジェクトチーム（PT）・アクションチーム（AT）活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

小学校のクラブ支援や公民館への出前講座が増え、忙しくなってきました。ゲームや体験を通じて、子ども達に楽しく分かりやすく環境のことを伝えていきます。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

定例会での案件内容及び資料、ブログ原稿等については、会議を円滑に進行するために、定例会開催 2 日前までにチーム全員に事前にメールすることを確認しました。

身近な環境を調べよう PT

調査対象の池を増やすべく計画中です。また、公民館への出前講座では、子ども達に動画を用いて糸田川の自然を紹介しました。



SDGs 啓発 PT

3R のカードゲームを作成し、メンバーで共有確認しました。また、研究報告書や環境出前講座のスケジュールの確認とワークショップ担当の検討及び視察見学地の候補について話し合いました。

手作りおもちゃと環境 AT

公民館への出前講座、吹田市の小学 4 年生の施設見学後の手作りおもちゃ体験で十字プロペラを作成しています。普段捨てているごみをおもちゃに作り変えて遊ぶ楽しさを知ってもらえてうれしく思います。

紙すき体験と環境 AT

紙すきの材料となるパルプは、牛乳パックをお湯で煮てその後表面のフィルムを剥がし、大変時間も労力もかかっていました。渡辺さん発案で研究所で圧力なべを購入し、時間も作業も簡単になりました。

マイ食器啓発 AT

クラウドファンディングへのご支援、誠にありがとうございました。マイ食器啓発活動継続中！

前号 3 2 1 号、P4 - 5 の掲載について訂正がございます。

P5 に記載しました内容に誤りがございましたので、お詫びと訂正をいたします。

P5 左側下から 8 行目、IDGs(インクルーシブディベロップメントゴールズ)

正しくは、**IDGs(インナーディベロップメントゴールズ)**です。大変申し訳ございませんでした。

吹田市のため池調べ

市民研究員 岡本 陸奥夫

身近な環境を調べようプロジェクトチームでは、2023年度は次の6カ所のため池を調査しました。ため池周辺は緑が豊かで、魚や亀などが生息し冬には多くの渡り鳥が見られました。簡易な水質調査とプランクトン調査もおこないましたが、蓮間池や釈迦ヶ池ではアオコの発生（水面が緑色になる現象）が見られました。

蓮間池



蓮間池（藤白台 5）

周辺は、千里北公園として整備されています。観音伝説や河童にまつわる話が残っています。

水遠池（藤白台 5）

周辺は、千里北公園として整備されています。名前は、水が遠くから引かれてきたことに由来するとか。

牛ヶ首池（津雲台 1）

周辺は、千里南公園として整備されています。牛の生首を池に投げ込んだというものと、疫病で死んだ牛をこの地に埋めたとの2つの説があります。

菩提池（佐竹台 3）

周辺は、佐竹台公園として整備されています。字名が菩提というところにあったようです。

春日大池（桃山台 2）

周辺は、桃山公園として整備されています。上池と下池が1つになり春日大池の呼ばれるようになりました。

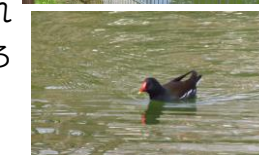
釈迦ヶ池（岸辺北 4）

隣接に紫金山公園、吉志部神社があります。奈良時代築造のため池で、大蛇伝説、鴨の猟場としての歴史もあります。

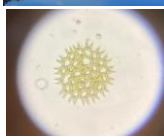
水遠池



菩提池



牛ヶ首池



春日大池



釈迦ヶ池



写真は、ため池の風景とそこで見られた鳥やプランクトンなどです。

お江戸でリサイクル

主担研究員 谷村綾子

蠟燭の灯りは 10 ルクス、パチンコ店の照明は 1000 ルクス

先日、くるくるサロンで江戸のリサイクルについて学ぶワークショップを開催させていただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。ご紹介した内容は、SDGs を学ぶための授業づくりとして大学生が提案した模擬授業のテーマが元になっています。

今回、ワークショップを実施する中で、私自身にもいろいろな気づきや学びの種がありました。たとえば「行灯（あんどん）」や蠟燭の灯りだけで過ごす夜の時間というのは実際どういうものなのだろう、と想像しました。調べてみると蠟燭の灯りはだいたい 10 ルクスくらいだそうです（パチンコ店の店内は 1000 ルクスだそうです）。それ以上明るくしたくても、昔の人は炎以外の光源をほぼ持っていないわけですから、我々が体験している煌煌とした不夜城のような都市空間や、隅々まで明るく照らされる部屋というのは、それこそ当時の人々にすれば魔法のような世界に見えることなのでしょう。また逆に、夜の月明かりや星々というのは、今以上に存在感を放っていたことなのでしょう。満月の明かりは 0.3 ルクスくらいだそうです。現代人の我々にとって月や星は、なにかイベントがあれば観るものの、普段は特段明るさを感じることもない存在ですね。そしてまた「日の出」とい

うもののありがたみも違ったのでは、と思います。実質的に「ものが見えるようになる」時間がやっときたという、安堵のような感謝のような気持ちが湧き起こる時だったのではないのでしょうか。

「灯り」のもとになる油（植物油や魚油）はもちろん生活に密着したものだったでしょう。

「油を売る」という慣用句もあります。油は水のようにさっと落ちないため、油売りはたらたらと垂れる油が切れるのをじっとまっていた、ということから、だらだらと時間をつぶすことを指すようになったようです。

そしてやはりものがない、というのが何よりモノを大切に理由だったのでしょうか。『布のちから－江戸から現在へ』（田中優子著／朝日新聞出版）によると、ぼろ一つにもそれをせっせと縫い合わせた当時の人たちの心を見ることができるとあります。つぎはぎの作業着にしても「きれいに洗いすすいであり、折り目がきっちりとたたんであった、この家のものは貧しくはあったがその心は決して病んではいなかった」という堀切辰一の述懐も同書に紹介されています。

ワークショップを通して、江戸の人々の徹底したリサイクル、最後の最後まで「ゴミ」と言わない思考を、皆さんと一緒に改めて体感できたように思います。

市民研究所通信

市民研究所長ご挨拶

三輪信哉

暑い毎日が続いておりますが、皆さん、お元気でお過ごしのことと存じます。この度、6月1日より、市民研究所長を拝命しました。皆様のお力、お知恵、お支えを頂きながら、皆様とともに進んで参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、千里リサイクルプラザが設立した1992年3月から32年が過ぎました。92年と言えば東西の冷戦が終わるとともに、国連環境開発会議がブラジルで行われ、世界のほとんどの国が参加し、温暖化や生物多様性など地球環境問題に向けて地球人が危機意識を持って取り組み始めた年です。時代は進み、あと26年で、そうした諸問題を解決するゴールの年とされている2050年がやって参ります。折り返し地点に立つ今、市民研究所はどのようにあるべきでしょうか。

ところで最近、アジアの国の方々のお話しを聞く機会がありました。一つは4月に来訪されたマレーシア・ペラ州の知事ご一行でした。破碎選別工場やエネルギーセンターを真剣に見学される姿に、ごみ問題に直面されている切実さを感じました。またある方からインドネシアの事情をお聞きしました。20代の方々が真剣にごみ問題を考え、どうしたらあふれるごみの山を解決し、ごみを生まない社会を作ることができるかを議論されているとのことでした。

そうした国々の事情を見聞きするときに、70年代から90年代に日本のいたるところがごみの山で埋もれ、各地で市民運動が燃え上がったころのことを思い出しました。市民研究所の皆さんも実体験されてきたことでしょうか。

そして時を重ね、吹田市を例にとれば、分別が進み、巨額の税金が使われて、収集されたごみを巨大な焼却炉で燃やし、大阪湾に埋め立てる、そうした仕組みができあがりました。多くの市民は、大量生産される過程で途上国にどのような負担を与えているかを知らなくても、破碎選別工場でごみを手選別していることを知らなくても、大阪湾を犠牲にして埋立処分されていることを知らなくても、「快適」に消費生活をおくることができる、そうした社会を作りあげてきました。そして、一見ごみのない、綺麗で快適で衛生的なまちにすることができました。

平均年齢が28歳というインドを始め、経済成長に勢いよく進み始めた途上国の人々が、日本を環境先進国として学びに来られます。私は、アジアの方々の自国のごみ問題を何とかしたいという熱のあるお話を聞くときに、足が止まってしまったのです。「はて、私たちは、『アジアの皆さん、日本の真似をすれば、こんなきれいな街になりますよ』と胸をはって言えるのだろうか」と。確かに衛生的で快適なまちができました。でもどの国もこうした姿が完成形であるべきだと、我々はこの道の先輩だと、自信をもって言えるのでしょうか。

今、私たちは企業中心のサーキュラーエコノミーの世界に移ろうとしています。そこで出来上がる、「市民は何も考えなくても快適で衛生的な消費を楽しめる社会」に向けて進んでいるようにも思います。話はそれます

が、若者と話していると、彼らが「日本に未来はよいから海外に移住する」「老人が多すぎるから我々の負担が増える、老人を減らすべき」と口に出すのをしばしば耳にします。若い世代がそうした考えを持つ社会を我々が作ってきたとしたならば、我々の責任は計り知れないものがあります。自己快適性の最大化、時間的にも空間的にもモノや命の流れのその先を見ようとする想像力の欠如。自分も含めて見つめなおす必要があるように思います。

『 某アジアの国では、巨大な埋め立て地もなく、巨大な焼却炉もなく、それでいて「もの」が大切に使われていて、最小の資源消費と最小の温暖化ガスで社会が回っている。多くの中小の企業がそうしたことを考えて製品を作り、流し、循環している。また心ある市民がそうした循環社会ができるよう、行政や企業にアイデアを出し、働きかけて、また他の市民にもそうした社会が大切だと訴えて、学校でも教育を手伝って未来世代を育てている。市民全員が当たり前のようにそうした社会が大事だと考えている。だからこそ、年長者も幼児もどんな人をも大事にして助け合っている。国民全員が自分の国は素晴らしいと自信をもって生きている。 』

もしそうした国が現れるとすれば、その国は後進国ではなく、日本を越えて一気に環境先進国に躍り出るのではないのでしょうか。

ということで、私たちは、文字通り、思いをはせながら自らの行動を考える「おもいやり」のある、サーキュラーエコノミーを含むサーキュラーソサエティ、サステナブルソサエティに向けて早急に行動し、社会を変えていく必要があると思うのです。（どなたかいい日本語を教えてくださいませんか？）そのためにも社会を見つめ、関わり、行動し、働きかけ、変革する、そうした使命が市民研究所にあるのだと私は思うのです。2050年を目指して。 皆さんはどのように思われるのでしょうか？

クラウドファンディング 6/30 終了！

くるくるプラザの市民研究所では、市民目線で、調査・研究・啓発活動を7つのチームで行っています。その一つマイ食器啓発アクションチームではマイ食器持参を呼び掛けています。使い捨ての容器などのごみを減らし、いつでもどこでもたたくで持ち運べるマイ容器をマイバッグに携帯して欲しい！そんな思いからマイ食器啓発アクションチームで容器を作製することになりました。

この度クラウドファンディングで支援金を募り、イベントやテイクアウトなどにも使っていただける容器を今後拡げていきたいと思い挑戦しました。皆さまからのご支援、感謝しております。目標金額には達成しませんでした。ご支援くださった皆さまのお気持ちが無駄にならないように頑張っ参ります。

『もったいない』を言わなくて済む世の中になりますように…。

私たちは活動を続けていきます。

本当にありがとうございました。m(_ _)m

マイ食器啓発アクションチーム



研究所 7 月 の 予 定

日	曜	催し	時間・場所	備考	
1	月	休館日			
2	火				
3	水	定例会	14:00～ プラザ	ごみゼロシステム研究PT	
4	木				
5	金				
6	土	第4回代表者会議	13:30～ プラザ	主担・代表者・事務局	
7	日	定例会	13:00～ プラザ	手作りおもちゃと環境AT	
8	月	休館日			
9	火				
10	水	環境出前講座(クラブ支援)	吹二小学校	手作りおもちゃと環境AT	
11	木	定例会	14:30～ プラザ	SDGs啓発PT	
12	金				
13	土	環境スクール③	10:00～ プラザ	出前講座 SDGsカードゲーム体験	
14	日				
15	月	休館日		海の日	
16	火	休館日		振替休館	
17	水	環境出前講座(クラブ支援)	山手小学校	手作りおもちゃと環境AT	
18	木				
19	金	第2回研究運営委員会	14:00～ プラザ講義室		
20	土				
21	日				
22	月	休館日			
23	火				
24	水				
25	木				
26	金				
27	土	キッズ環境スクール①	10:00～ プラザ	開校式・ガラス工芸、 手作りおもちゃ体験	
28	日				
29	月	休館日			
30	火				
31	水				

研究所 8 月 の 予 定

日	曜	催し	時間・場所	備考	
1	木				
2	金				
3	土	第5回代表者会議	13:30～ プラザ	主担・代表者・事務局	
4	日	くるくる夏フェスタ	くるくるプラザ		●
5	月	休館日			
6	火	定例会	13:00～ プラザ	手作りおもちゃと環境AT	
7	水				
8	木	キッズ環境スクール③	9:00～16:00 プラザ	琵琶湖博物館 親子見学バスツアー	
9	金				
10	土				
11	日	休館日		山の日	
12	月	休館日		振替休日	
13	火				
14	水				
15	木				
16	金				
17	土				
18	日	キッズ環境スクール③	10:00～ プラザ	木工・紙すき体験	
19	月	休館日			
20	火				
21	水				
22	木				
23	金	もったいないバザール 実行委員会②	13:30～ プラザ		
24	土				
25	日				
26	月	休館日			
27	火				
28	水				
29	木				
30	金				
31	土				

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。